

第27回谷本清平和賞 受賞者 秋葉忠利氏 (授与式2015年11月15日)



【受賞理由】ヒロシマの願いは 世界の人々から理解されねばならないとしてアキバプロジェクトを創設されました。広島市長在任中は、市政において行財政改革に努める一方、平和市長会議会長として加盟都市の拡大により国際的な世論形成の醸成を図り、この活動の集大成として2020ビジョンを提唱し核廃絶への道筋を示しました。近年は 次世代への平和教育として広島・長崎講座開設をはじめ多方面にわたる活動をされています。このように高い識見とグローバルな視点から核兵器の廃絶と恒久平和の実現を世界に向けて発信し続けています。よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

第28回谷本清平和賞 受賞者 ピーターソンひろみ氏 (授与式2016年11月13日)



【受賞理由】ハワイ・プナホウ学園の日本語教師として、30年の歳月をかけて日本語教科書を編纂し、この教科書の中で日本の生活や文化を紹介するだけでなく、先の戦争や原爆についても取り上げ、一方的になりがちな歴史観に一石を投じました。一方、この教科書の印税の一部で「広島平和スカラシップ」を創設し、毎年現地高校生2名と教師を広島に派遣し、今なお日米高校生の平和交流が続いています。このように、日本語教育を通して後世を担う若者たちへ平和の芽を育てようと献身的な活動をされています。よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

----- 谷本清平和賞の受賞者・団体 -----

第1回1987年	ノーマン・カズンズ氏	第14回2002年	中沢啓治氏
第2回1988年	フロイト・シュモア氏	第15回2003年	吉永小百合氏
第3回1990年	栗原貞子氏	第16回2004年	平岡 敬氏
第4回1991年	森瀧市郎氏	第17回2005年	新藤兼人氏
第5回1992年	今堀誠二氏	第18回2006年	学校法人広島女学院
第6回1994年	ジョン・ハーシー氏	第19回2007年	在韓被爆者渡日治療広島委員会
第7回1995年	ヒロシマを語る会	第20回2008年	高橋昭博氏
第8回1996年	金 信煥氏	第21回2009年	平野伸人氏
第9回1997年	村井志摩子氏	第22回2010年	夏の会
第10回1998年	江口 保氏	第23回2011年	坪井 直氏
第11回1999年	伊藤隆弘氏	第24回2012年	碓井静照氏
第12回2000年	ワールド・フロント・シップ・センター	第25回2013年	小倉桂子氏
第13回2001年	河本一郎氏	第26回2014年	サーロー節子氏

第26回 日本語による世界平和弁論大会 (授与式2015年11月15日)



最優秀賞受賞者 ノイバート ユリアさん
 題名 「地球人だから」 ノートルダム清心高等学校 (ドイツ出身)

【要旨】日本とドイツは似ている点があります。恐ろしい決定をし、戦争を始めてしまったことです。しかし、現在は両国とも自分たちの大きな過ちから学んで、過去の戦争を乗り越えて、世界中の人と仲良くしなくてはいけないと思っています。帰国したら、私たち留学生の義務は、人々に日本で学んだ平和学習を伝えることです。一人の力は小さいけれど、みんな一生懸命に平和のために行動したら、世界平和は実現するということを伝えたいです。



最優秀賞を受賞するナミコさん



出場者全員が舞台上で集う

第27回 日本語による世界平和弁論大会 (授与式2016年11月13日)

最優秀賞受賞者 ウフナーロヴァー ナミコさん
 題名 「71年たっても癒せない傷」 舟入高等学校 (スロバキア出身)

【要旨】下校中、電車の中で一人のおばあさんに出逢った。原爆の話聞いた。戦争を体験した人の強さを感じた。第二次大戦が終わってからも、核兵器の数が増える間にも、世界の指導者が、核廃絶に向けて力を尽くしたのは「我々が武器を造るのは、武器を使わないため。」と認識した。現在広島は進化したが、71年経った今でもあのおばあさんの心の傷は癒えていない。美しい街の中にひっそりとたたずんでいるボロボロの原爆ドームの壁の傷が、それを物語っているかのように。広島に来てから、平和について考えるようになった。自分に何が出来るのか、探してみる。



----- 世界平和弁論大会最優秀賞の受賞者 -----

第1回1990年	王 志松さん (中国)	第14回2003年	ケリー・スミスさん (アメリカ)
第2回1991年	カン・ハソクさん (インド)	第15回2004年	スガアティ・チャンドルさん (タイ)
第3回1992年	アリン・チャ・ワン・ワイさん (マレーシア)	第16回2005年	任 麗潔さん (中国)
第4回1993年	榮 勇さん (中国)	第17回2006年	ジャルワン・ティアンクンさん (タイ)
第5回1994年	アン・セシルさん (フランス)	第18回2007年	エセンジャン・アイジャさん (カザフスタン)
第6回1995年	アリン・シャルム・チャイットさん (タイ)	第19回2008年	スガントイ・ハラスリヤさん (スリランカ)
第7回1996年	ハトリヤ・オムスさん (ベネチエ)	第20回2009年	ルムザヤ・エルデネバットさん (モンゴル)
第8回1997年	フルカト・フェイスさん (中国)	第21回2010年	ヌルダナ・アディルノリさん (カザフスタン)
第9回1998年	アリソン・マクマラさん (オーストラリア)	第22回2011年	アシクパ・エワ・アイダナさん (カザフスタン)
第10回1999年	刘 艶さん (中国)	第23回2012年	スマイルノワ・マティンさん (カザフスタン)
第11回2000年	リスキー・ブトリさん (インドネシア)	第24回2013年	サラ・ハネリスさん (ドイツ)
第12回2001年	ホアン・ペト・ロメント・サさん (コンゴ)	第25回2014年	任 欣雨さん (中国)
第13回2002年	朴 紅梅さん (中国)		